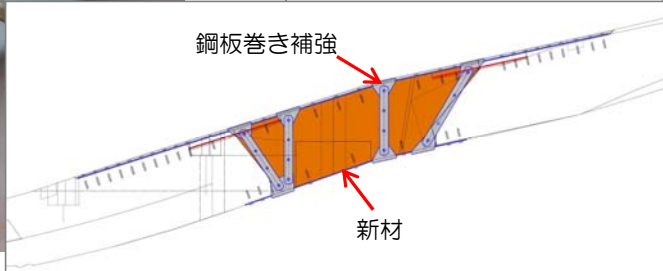




さんちようつぎすみぎ  
三丁継隅木

折れてしまった隅木は新材で  
つなぎ、鋼板巻き補強をしまし  
た。



かえるまた  
臺股

臺股の補修を行いました。

ちきり  
割れた部分には千切を入れました。

裏面



ひじき  
上層肘木

肘木の補修を行いました。



新材を貼り付けた状態



彫刻加工と古色塗を行った状態

上層 雲支輪 くもりん

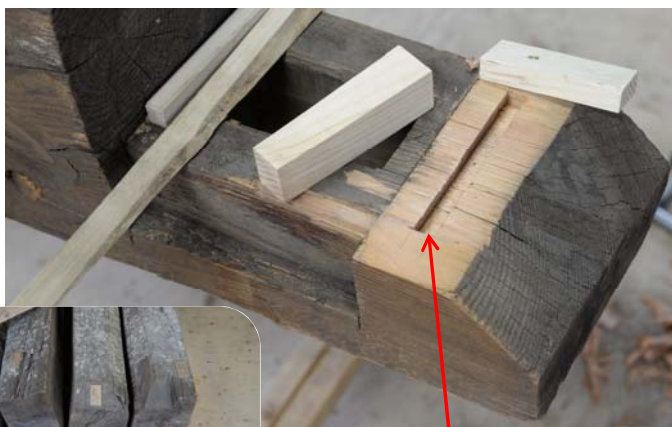
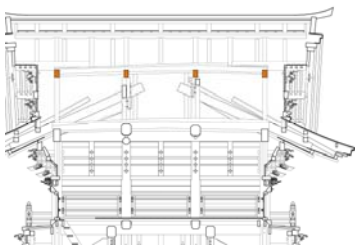
倒壊時に生じた割れや疵きずに新材を貼り付け、彫刻を行ったあと、古色塗を行いました。



この部材です

上層二重梁 にじゅうばり

倒壊時に生じた割れや疵を、埋め木、矧木、接着剤付けしました。

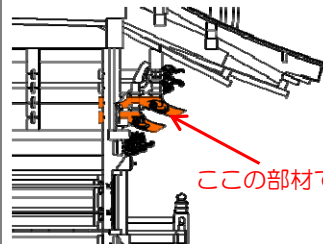


めちがいぼぞ  
目違柄を入れ、簡単に外れないように接着しました

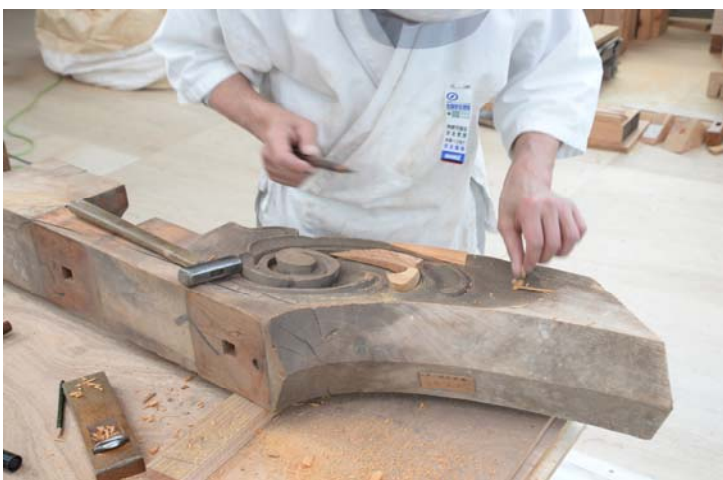


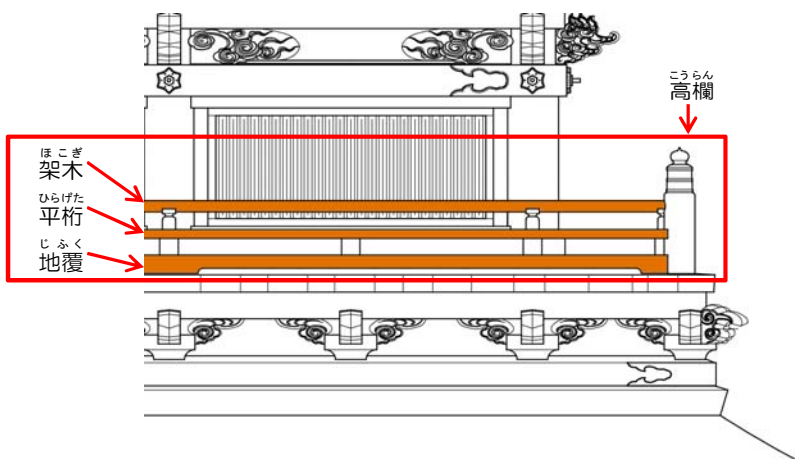
上層 尾垂木 おたるき

倒壊時に生じた割れや疵に新材を貼り付け、彫刻を行ったあと、古色塗を行いました。



この部材です





**高欄(地覆)**

倒壊時に生じた割れや疵を、埋め木、矧木、接着剤付けしました。

地覆の割れ部分には千切を入れました。

**高欄(平桁)**

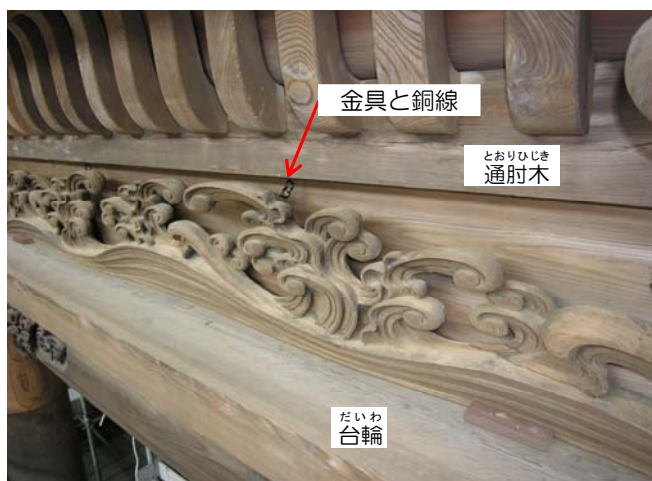
倒壊時に生じた割れや疵を、埋め木、矧木、接着剤付けしました。



架木には、クマバチの巣と思われる、1.5cm程度の穴が数箇所空いていました。

**高欄(架木)**

新材を貼り付けたあとに、古材に合わせて丸く形を整えました。



だいわ  
台輪上彫刻 取付

台輪上の波型の彫刻を、金具と銅線を使って、とおりひじき通肘木に括り付けました。

この部材です

耐震補強 取付

下層大桁と鋼管柱を繋ぐ、鋼材を取り付けました。

この部分です



うしはり  
牛梁 取付

下層小屋組を組立中です。

この部材です